



中川防災マップ



中川連合振興町会 平成 21 年

- ### この地図の見方
- 公園 一時避難場所
中川西公園
 - 収容避難場所
中川小学校・大池中学校
 - 公園 指定避難場所
以外の公園
中川南・中川・西の川
 - 地域会館
・中川老人憩いの家
・中川西会館
 - 防火水槽・プール
 - 消火器設置場所
 - 可搬式ボンブ
 - 公衆電話
 - 病院・診療所
 - 薬局・接骨院
 - 「AED」設置場所
 - フォークリフト
 - 資機材・大工道具
ジャッキ・ノコ・パール
シャベル・ハンゴなど
 - 発電機
 - コンビニ、スーパー
- 町会境界線
町会名称

- ### ●中川連合各施設の連絡先
- 中川小学校(本部): 6753-1822
 - 大池中学校: 6752-3451~2
 - 中川老人憩いの家: 6757-4070
 - 中川西会館: 6731-5522

- ### ●生野区各施設の連絡先
- ◇警察: 110
 - ◇救急・消防: 119
 - 大阪市救急情報サービス: 6543-9999
 - 生野区役所(区災害対策本部): 6715-9990
 - 生野警察署: 6712-1234
 - 生野消防署: 6731-0119
 - 水道局: 6719-7852
 - 下水センター: 6751-5000
 - 環境局(ゴミ): 6751-5311
 - 建設局(道路橋): 6706-0102
 - 関西電力: 6373-3131
 - 大阪ガス: 6583-0233
 - NTT: 113

●電話が使えないとき...

大規模な災害時には、一般電話や携帯電話の通話が制限されます。NTTの災害用伝言ダイヤルを活用して、家族や友人の安否確認を行います。

災害伝言ダイヤル 171

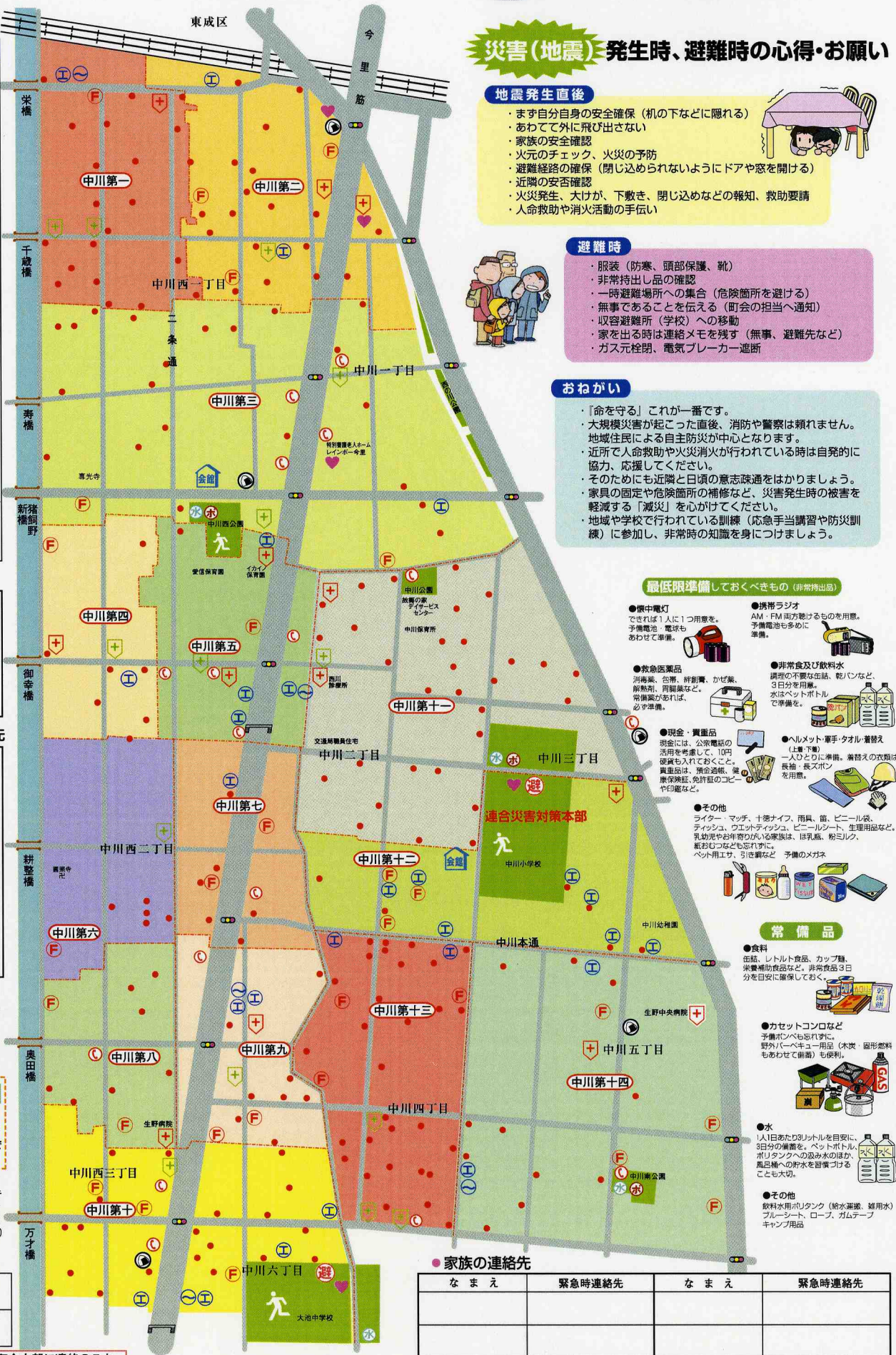
NTT 西日本 (一般電話: 音声) 「171」をダイヤルしガイダンスにしたがって伝言を登録・再生できます。

このサービスは毎月1日、防災週間(8月30日~9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日~21日)、に体験利用できますので、安否情報を登録してみましよう。(通話料が必要です。)

●防災メモ

町会・班	
町会一時避難先	

※各班の安否確認報告は各町会本部に連絡のこと。



災害(地震)発生時、避難時の心得・お願い

地震発生直後

- ・まず自分自身の安全確保(机の下などに隠れる)
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・家族の安全確認
- ・火元のチェック、火災の予防
- ・避難経路の確保(閉じ込められないようにドアや窓を開ける)
- ・近隣の安否確認
- ・火災発生、大けが、下敷き、閉じ込めなどの報知、救助要請
- ・人命救助や消火活動の手伝い



避難時

- ・服装(防寒、頭部保護、靴)
- ・非常持出し品の確認
- ・一時避難場所への集合(危険箇所を避ける)
- ・無事であることを伝える(町会の担当へ通知)
- ・収容避難所(学校)への移動
- ・家を出る時は連絡メモを残す(無事、避難先など)
- ・ガス元栓閉、電気ブレーカー遮断



おねがい

- ・「命を守る」これが一番です。
- ・大規模災害が起こった直後、消防や警察は頼りません。地域住民による自主防災が中心となります。
- ・近所で人命救助や火災消火が行われている時は自発的に協力、応援してください。
- ・そのためにも近隣と日頃の意識疎通をはかりましょう。
- ・家具の固定や危険箇所の補修など、災害発生時の被害を軽減する「減災」を心がけてください。
- ・地域や学校で行われている訓練(応急手当講習や防災訓練)に参加し、非常時の知識を身につけましょう。

最低限準備しておくべきもの(非常持出し品)

- 懐中電灯
できれば1人1つ用意を。予備電池、電球もあわせて準備。
- 携帯ラジオ
AM・FM両方聴けるものを用意。予備電池も多めに準備。
- 救急医薬品
消毒薬、包帯、絆創膏、かぜ薬、解熱剤、胃腸薬など。常備薬があれば、必ず準備。
- 現金・貴重品
現金には、公衆電話の活用を考慮して、10円硬貨も入れておくこと。貴重品は、預金通帳、健康保険証、免許証のコピーや印鑑など。
- 非常食及び飲料水
調理の不要な缶詰、乾パンなど。3日分を用意。水はペットボトルで準備を。
- ヘルメット・軍手・タオル・着替え
(上着・下着) 一人ひとりに準備。着替えの衣類は、長袖・長ズボンを用意。
- その他
ライター、マッチ、十徳ナイフ、雨具、笛、ビニール被、ティッシュ、ウエットティッシュ、ビニールシート、生理用品など。靴おむつなども忘れず。ペット用エサ、引き綱など 予備のメカネ

常備品

- 食料
缶詰、レトルト食品、カップ麺、栄養補助食品など。非常食品3日分を目安に確保しておく。
- カセットコンロなど
予備ボンベも忘れずに。野外バーベキュー用品(木炭・炭形燃料もあわせて準備)も便利。
- 水
1人1日あたりリットルを目安に、3日分の確保を。ペットボトル・ポリタンクへの汲み水のほか、風呂桶への貯水を習慣づけることも大切。
- その他
飲料水用ポリタンク(給水運搬、雑用)水フルーサー、ロープ、ガムテープ、キャップ用品

●家族の連絡先

なまえ	緊急時連絡先	なまえ	緊急時連絡先